

令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	31	50	36	6.0	15.3
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月 17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
理科	
学校	471
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 平均正答率は全国平均を4. 3ポイント、大阪市平均を2ポイント下回る結果となった。学習指導要領の内容の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国・大阪市平均を下回る結果となった。
平均無解答率は全国平均より0. 7ポイント、大阪市平均より0. 8ポイント低い結果となり上回った。

＜数学＞ 平均正答率は全国平均を12. 3ポイント、大阪市平均を10. 0ポイント下回る結果となった。学習指導要領の内容の「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域において全国平均・大阪市平均を下回る結果となった。
平均無解答率も全国平均より4. 7ポイント高く、大阪市平均も4. 1ポイント高い結果となった。

＜理科＞ 平均IRTスコアは全国平均を32ポイント、大阪市平均を18ポイント下回る結果となったが、IRTバンド分布比較からは、4・5水準において大阪市を0.5ポイント上回った。

＜生徒質問紙＞ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問で全国平均を14. 0ポイント、大阪市平均も15. 7ポイント上回った。
「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問においても、全国平均を32. 7ポイント・大阪市平均も32. 6ポイント上回った。
「自分によいところがあると思いますか」の質問では、全国平均を15. 2ポイント、大阪市平均を15. 0ポイント上回った。

【今後に向けて】

国語・数学では、当該学年において、チームティーチングを展開し、苦手の克服と、基礎学力の定着に努めた。また、テスト前放課後学習や夏休み補充学習を実施し、きめ細やかな指導を行ってきた。理科においては、科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するため、観察や実験を多く行い、生徒の興味・関心・意欲につながったとみられる。

結果、今回の全国学力・学習状況調査の結果では全国平均・大阪市平均に届かなかったが、学力は確実に向上してきている。
生徒質問紙の回答より、「国語・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」で「思う」と答える生徒の割合が多く、国語・数学の勉強の必要性を感じているのがみてとれる。また、「理科の勉強は好きですか」で「思う」と答える生徒の割合が全国・大阪府を大幅に上回った。これまでの指導の成果が表れた結果だといえる。

今後も、チームティーチングを国語・数学の授業で実施しするとともに、理科では探究的な学習の充実を図る。
ICTをさらに活用して個別最適な学習指導を行い、将来の夢や目標を持たせ、社会を強く生き抜き未来を切り開くことのできるための学力の向上に努めたい。

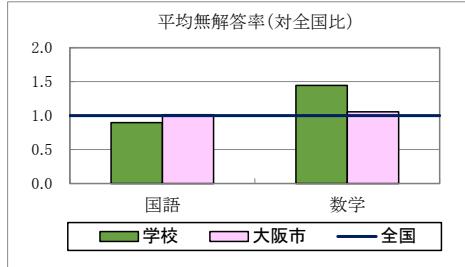
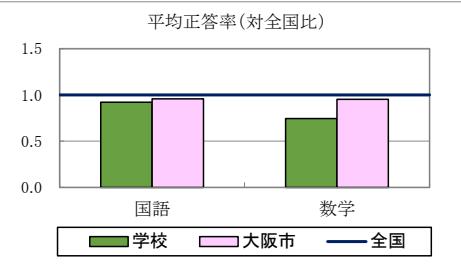
**令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	50	36
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

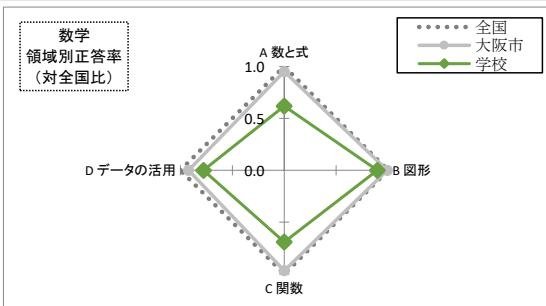
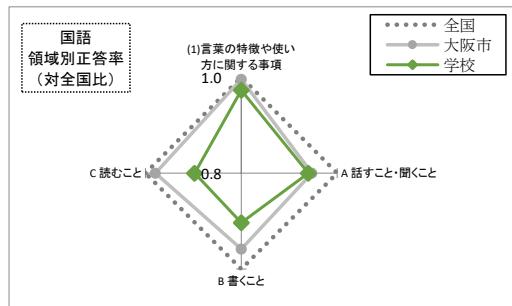
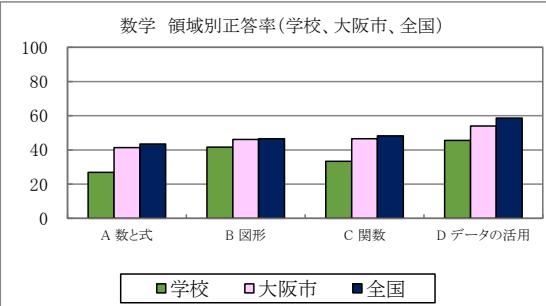
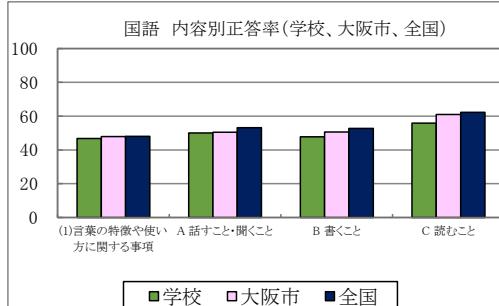
平均無解答率(%)	
国語	数学
6.0	15.3
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	46.8	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	50.0	50.4	53.2
B 書くこと	5	47.7	50.6	52.8
C 読むこと	3	55.9	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	26.9	41.4	43.5
B 図形	4	41.7	46.1	46.5
C 関数	3	33.3	46.6	48.2
D データの活用	3	45.6	54.0	58.6

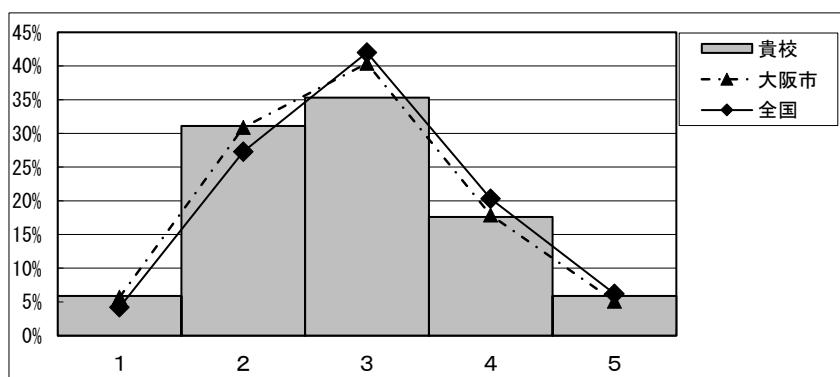
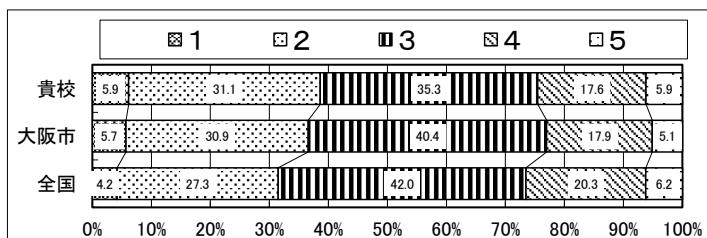


令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	471
大阪市	489
全国	503



令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

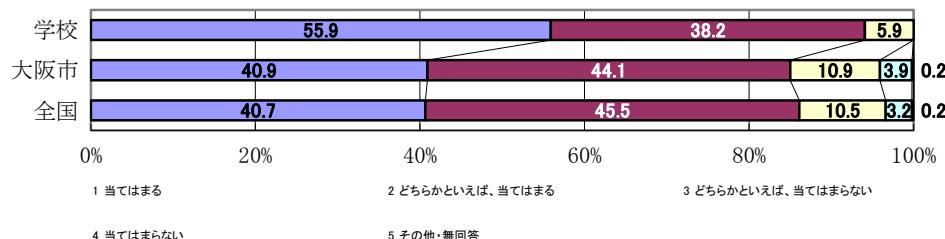
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

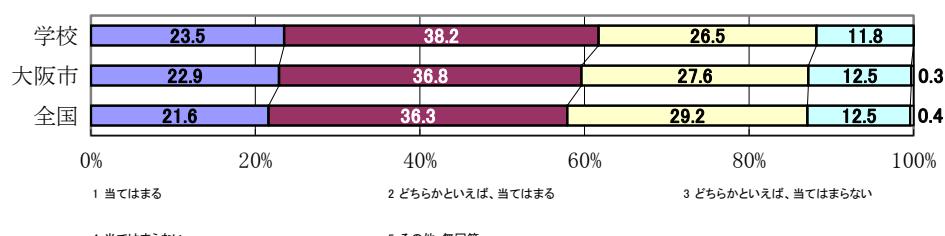
5

自分には、よいところがあると思いますか



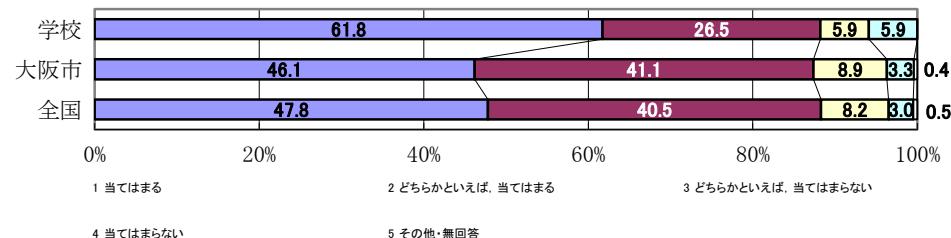
45

国語の勉強は好きですか



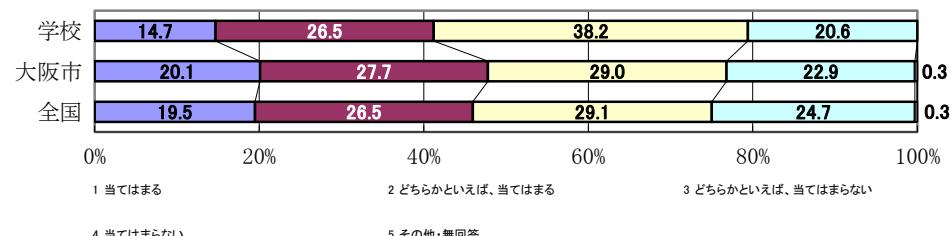
47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



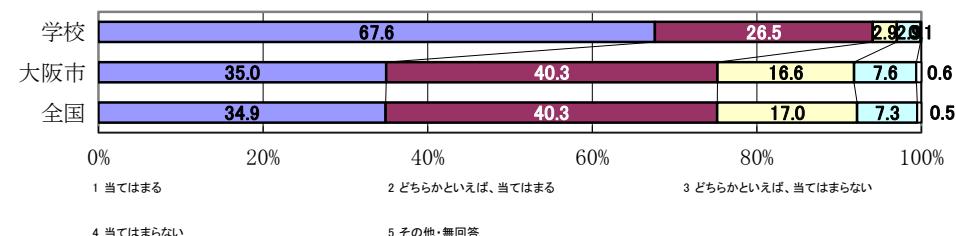
52

数学の勉強は得意ですか



55

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



令和7年度 大阪市立矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

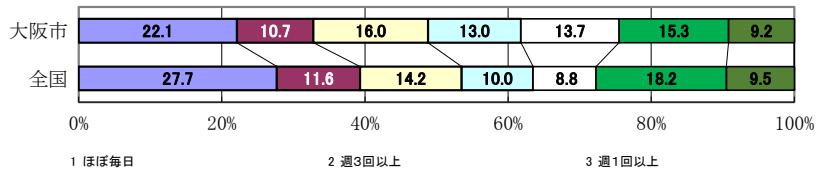
学校質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
67_1

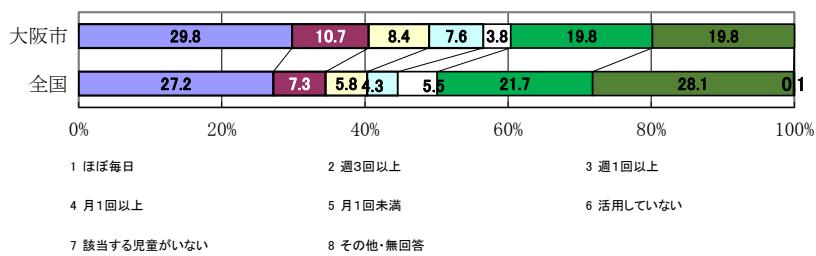
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校生徒に対する学習活動等の支援((67-2)の授業配信を含む)

学校 「ほぼ毎日」を選択



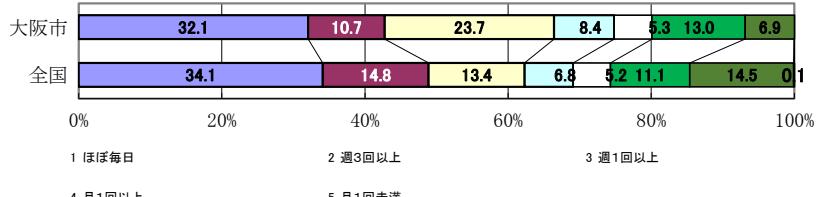
67_2
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)希望する不登校生徒に対する授業配信

学校 「週3回以上」を選択



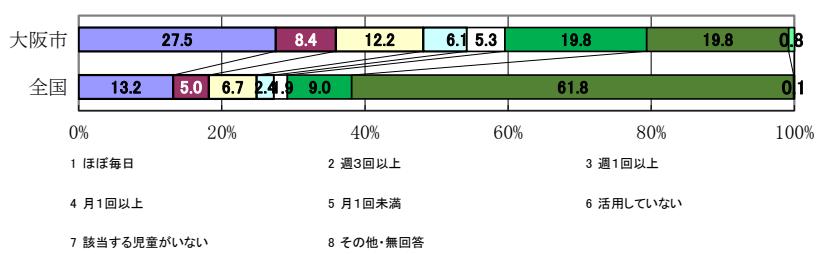
67_3
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)特別な支援を要する生徒に対する学習活動等の支援

学校 「週1回以上」を選択



67_4
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)外国人生徒に対する学習活動等の支援

学校 「月1回以上」を選択



67_5
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)生徒の心身の状況の把握

学校 「月1回未満」を選択

